

教育目標:	心豊かな三小の子に	○やさしい子	○進んでとりむ子	○考える子	○元気な子
めざす学校像:	『子供たちが明日も行きたくなる学校』				
めざす児童像:	互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識をもつ児童 ・社会に対して主体的に関わり合い、社会に貢献することのできる個性と創造性豊かな児童				
めざす教師像:	指導力に優れた教師 ・児童、保護者、地域から信頼される教師 ・組織的な学校運営に進んで参画できる教師				

領域	中期目標	短期目標	具体的方策	努力指標	努力指標	成果指標	成果指標	分析コメント	改善策
				(中間)	(最終)	(中間)	(最終)		
確かな学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラムマネジメントの確立</li> <li>授業改善の推進</li> <li>ICT環境の有効活用</li> <li>高学年教科担任制の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科横断的な学習の充実を図る。</li> <li>週ごとの指導計画の充実による教員の授業力の向上を目指す。</li> <li>児童一人1台貸与するタブレット端末等を活用した指導を取り入れ、指導の充実を図る。</li> <li>専門性の高い授業を実施し、知的好奇心を高めるとともに、中学校への円滑な接続を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>週ごとの指導計画には、ねらいと学習活動を明記するとともに、指導記録の作成による振り返りを積み上げ、指導と評価の一体化を推進する。</li> <li>ICT機器を効果的に活用し、児童の学習意欲を向上させる。</li> <li>授業コンテンツの開発を行い、個別最適な学び・協働的な学びを生かした授業を実施する。</li> </ul>	4		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>毎時間、学習のテーマを児童に明示し、課題意識をもって取り組む習慣を促すことができた。</li> <li>○週ごとの指導計画には前の週の指導について振り返りを記入し、その後の指導に生かされている。</li> <li>○一年生のスタートカリキュラムを意識し、4月は児童の実態に合わせて運用することができた。</li> <li>△教科担任制の適切な実施のためには学級・教科両面から指導計画の進行管理をする必要がある。</li> <li>△それぞれの授業を振り返り、細かい指導記録を残していく時間を確保する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科担任は、自身の計画だけでなく、学級の児童の動きも把握できるように、校務支援ソフト(C4th)を効果的に活用し、教科担任制としての指導計画の一本化を図っていく。</li> <li>・達成感を味わわせられるような授業内容の工夫をさらに研究する。</li> <li>・授業計画や評価を見通しをもって進めていく必要がある。</li> </ul>
				2		4			
豊かな人間性の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育の一層の充実といじめの未然防止の徹底</li> <li>道徳教育の推進</li> <li>特別活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「すべての人を大切にすまじき言葉」に関連する授業を実施する。</li> <li>・場に応じたあいさつや適切な言葉遣いの指導を徹底する。</li> <li>・児童の個性を尊重し、自己肯定感を高める支援を推進する。</li> <li>・考え方の違いを認め、自らの考えを深める指導を工夫する。</li> <li>・体験を通して、互いに理解し合い尊重し合える活動を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の人権感覚の向上を図るとともに、児童の人権意識を高め、いじめゼロを目指す。</li> <li>・発達段階に応じて、特別支援教室との連携を図った授業を行うとともに、学校だより等で学期に1回以上特別支援教室の活動を周知する。</li> <li>・各学級で月1回程度の学級会を実施し、コミュニケーション能力と合意形成を図る力を育成する。</li> <li>・年間を通してたわわり班活動を行い、様々な人と楽しく触れ合い、協力し合う活動を工夫する。</li> </ul>	4		3		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師自らも人権感覚をもち、行動することを心がけている。</li> <li>○いじめ防止のための指導を継続的に行っている。学校教育目標や学年目標を適宜振り返り、思いやりの心の育成に努めることができる。</li> <li>△児童の人権感覚の向上やいじめの未然防止に対しては、組織的・計画的に進める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年や学校全体で組織的ないじめの未然防止や早期対応に取り組むとともに、人権教育に重点を置いた取組を継続していく。</li> <li>・児童会を中心に「自分から積極的にあいさつできる」取組を継続して行う。</li> <li>・こすもす教室通信を学級でも紹介することで、連携や理解をさらに深めている。</li> </ul>
				2		4			
健やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>すすんで運動に取り組む意欲と体力の向上</li> <li>食育や保健指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の実態や発達段階に応じた指導の充実を図る。</li> <li>・健康について正しい理解と留意する意識を高める指導を実施する。</li> <li>・食への関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年に体育専科教員が関わり、指導内容の系統性を考慮した授業改善に取り組む。</li> <li>・体育的な活動を毎時間の授業に取り入れ、運動への意欲と体力の向上を図る。</li> <li>・毎学期1回の保健指導と毎月1回保健だよりを発行し啓発に取り組む。</li> <li>・家庭科の学習や栄養士による授業で学んだことを生かし、年間1回食会を行う。</li> </ul>	4		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育専科教員による系統的な指導により、教員の授業力向上につながっている。結果、児童の意欲や体力向上へつながっている。</li> <li>○学習カードやホワイトボードの活用など、ねらいを明確にして学習でき、めあてに向かった振り返りをする児童の姿が見られる。</li> <li>○学期1回の定期的な保健指導で、児童の健康への正しい理解につながることができている。</li> <li>○定期的な保健指導以外でも、気候の変化や感染状況等に応じて、指導することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育的活動の流れや場の使い方など、個別最適な学習につながる工夫をする。</li> <li>・問題解決的な学習等指導の工夫をすることで、児童の意欲を高め、体力の向上につなげていく。</li> <li>・保健指導したことが実践できるように、定期的かつ繰り返し指導していく。</li> </ul>
				3		4			
家庭・地域等との連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域、保護者との連携及び地域の特色を生かした教育活動</li> <li>「見える学校」「話のできる学校」による開かれた学校づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区での連携を推進する。</li> <li>・地域人材の発掘、及び地域の教育資源を積極的に活用する。</li> <li>・保護者や地域ボランティアへ積極的に教育活動への参加を呼び掛ける。</li> <li>・学校だよりや学年だより、学級だより、ブログを通して積極的に情報を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国分寺学級担任制等共通テーマを設定し、実践を交流する。</li> <li>・地域の自然や文化・伝統に触れる環境づくりをする。</li> <li>・保護者や地域ボランティアへ積極的に教育活動への参加を呼び掛ける。</li> <li>・各学年・専科からタイムリーかつ月に2～3回程度ブログを発信する。学級だよりまたは学級ブログは毎月1回以上発行する。</li> </ul>	3		4		<ul style="list-style-type: none"> <li>○中学校区での連携では、中学校の授業研究を実施し、情報共有ができている。</li> <li>△ゲストティーチャーによる授業や地域資源を生かした活動に取り組んできたが、学年の実態や学習のねらいに応じた体験的学習を一層充実させていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の理解を一層深めるための発信内容の精選を図っていく。</li> </ul>
				2		3			